

中遠地域の農業・林業の話題をお届けします！



きらり中遠 ホットニュース

令和3年7月13日 発行（第3号）

* 取組 * 中遠農業マネージメント講座を開催します

当所では、意欲的で今後農業経営を拡大したい農業者等を対象に、中遠農業マネージメント講座を開催します。経営理念や経営分析、経営戦略について学び、全6回の講義を通して独自の経営計画の策定を支援します。

講師：中小企業診断士 藤田浩嗣氏
（カムイブレインズコンサルト株式会社 代表取締役）
場所：中遠総合庁舎 会議室
応募締切：令和3年7月16日（金）
応募先：中遠農林事務所生産振興課
（Tel:0538-37-2269）
（生産振興課）

開催時期	内容
第1回講座 （8月2日）	・開校式オリエンテーション ・経営理念の構築 ・経営の現状把握、SWOT分析 ・ビジョンの構築
第2回講座（9月）	・経営戦略、目標の設定
第3回講座（9月）	・決算書を用いた財務解析
第4回講座 （10月）	・経営計画の策定
第5回講座 （11月）	・経営改革計画のブラッシュアップ
第6回講座 （12月）	・農業経営改革計画発表会

* 取組 * いまい保全の会が、今井小学校で「田んぼの楽校」を行いました

美農里の活動組織「いまい保全の会」（袋井市）が、令和3年6月8日に今井小学校で「田んぼの楽校」を行いました。これは、年間を通じて今井小学校と連携し、小学5年生に米作りを体験してもらう取組で、前回の堆肥播きに続き、今回は田植を行いました。

初めての田植で、ぎこちない手つきで慎重に植える子供たちでしたが、最後にはスピードも上がり、大分手つきも上達しました。子供達からは「泥の感触が気持ちよかった」「機械じゃないから疲れた」「まっすぐ植えるのが難しかった」「楽しかった」と感想が聞かれました。今後は稲の分けつや、花の様子を観察し、秋には稲刈りを行います。

小学校との連携の中で、子供が地域の方々と接することで、農業や地域を身近に感じてもらい、これらの活動を通じて、将来の担い手である子供たちに農業農村の大切さを伝えていきます。



（農村整備課）

* 情報 * 森町で半夏生が見頃を迎えています



森町天方地区鍛冶島には、日本有数の半夏生の群生地があります。群生地までは駐車場から小径が整備され、散策を楽しむことができます。半夏生は、花の時期に葉の一部が白く染まる不思議植物で、これから見頃を迎えます。

週末には駐車場で地元の方が呈茶や農産物の販売を計画しています。近くには摘み取り体験ができるブルーベリー園もあります。

また、今年はSNS写真コンテストを実施しています。お時間のある方は是非訪れてみてください。
(地域振興課)

* 情報 * 6次産業化の取組として、今年もブルーベリービールを販売

森町天方地区では地域振興の1つとして、ブルーベリーの栽培に取り組んでいます。森町ツーリズム研究会森町でつながる推進部会は、今年も地元のブルーベリーを使用したビールを企画し、ビール工房に製造を委託。半夏生の見ごろに合わせ、販売を始めました。

今年のビールは、ビール風味を増すために使用する酵母を変えています。当ビールは、森町体験の里アクティ森などで購入できます。ブルーベリーの持つ色合いとフルーティな味わいをお楽しみください。

(地域振興課)



* 取組 * ふじのくに花の都しずおか中遠地域推進協議会の研修を動画にて配信中！

ふじのくに花の都しずおか中遠地域推進協議会は、一年を通じて花と緑があふれる「花の都」の実現を目指し、中遠管内6市町、花の会、生産者団体、流通団体等で構成する組織で、当所が事務局を担当しています。

今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、研修は園芸教室の動画を配信することとしました。動画は、袋井市内の専門店が主催する園芸教室を編集したもので、グリーンアドバイザー安間秀仁先生の指導により、玄人風の寄せ植えのコツをまとめています。使用する花材は、白を基調とした9種類で、いずれも暑さに強く、夏の間中、爽やかな空気を醸し出してくれます。

当協議会は、コロナ禍で巣ごもりになりがちな今こそ、花と緑を自宅で学び、楽しむ提案を通して、地域の「花の都づくり」を進めていきます。
(企画経営課)

前編



中編



後編



発行：静岡県中遠農林事務所

〒438-8558 静岡県磐田市見付 3599 番 4 号 電話 0538-37-2272 (企画経営課)

E-Mail : nourin-chuen-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp URL : <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-760/>